



みどころ  
いっぱい

# 久斗川渓谷コース

ドライブコース

## 1 鉄道工事中職業病者招魂碑



桃観トンネル工事で、けがや病気で亡くなった方々をまつる記念碑。全国各地や朝鮮の方々27名がまつられており、トンネル両側のレンガ造りの孔口上部には当時の鉄道院総裁の揮毫(きごう)の額があります。これらのことからも、このトンネル工事がいかに難工事であったかがわかります。

## 2 久谷八幡神社とざんざか踊り



もとは蓮台山の中腹にあったといわれる神社。祭日は9月15日。室町時代から伝えられたといわれる県指定の無形文化財「ざんざか踊り」を奉納したあと、村の豊作や安全祈願して、各家庭を回りながら踊ります。

## 3 メガネトンネル



メガネトンネルは県道と和田川を横断するトンネルです。山陰線の建設当時、レンガ造りが一般的でしたが、このトンネルは当時では珍しい鉄筋コンクリート造りです。建設時の写真では多くの鉄筋が組まれ、最先端の技術でつくられたことがわかります。

## 4 湯島・因幡の浜街道の一里塚



湯島・因幡街道の一里塚。対田の久斗川左岸、山裾にあり、昔の往来を偲ばせる塚です。この街道は東の余部への桃観峠がつづら折りの難関のため、鉄道開通後はほとんど利用されませんでした。

## 5 ミツガシワの群落



二日市東部の湿地で発見されたミツガシワの群落。これは寒冷な湿地に繁茂する植物で、氷期の遺物といわれます。久斗川下流部の湿地帯で、耕地整理の際に沼地が掘り返されたため、地中にあった種が芽生えたものと思われます。2017年、新温泉町指定の文化財に指定されました。

## 6 お滝さんと滝壺(藤尾)



久斗川の曲流部と支流龜谷川の合流部にできた小滝。清流が絶えることなく注いでいます。傍には、お滝神社の社殿跡があり、滝壺に円礫が堆積していることから、この滝壺は田井ノ浜につながるという伝説があります。

## 7 あかなめの滝



境村下流、左岸の狭い谷から、急斜面を落下する二段の滝です。滝は流紋岩の赤い岩盤を流れ落ちることから名付けられました。この上流の対岸にも「ひつきの滝」や「小滝」などがあります。

## 8 久斗山コミュニティセンター



久斗山農産加工組合は元小学校校舎を利用して、トチの実や山菜・小豆などを生かした特産品づくりに取り組んでいます。コミュニティセンターを中心に高齢者が知恵と頑張りを生かして活動し、夏季には創造の森や旧道を散策するなど体験事業も実施しています。

## 9 大杉神社の大ヒノキ



大杉神社の境内には樹齢800年ともいわれる大ヒノキの巨木があります。根元に埋めて発酵させる「万年酒」といわれるドブロクがつくられていて、祭礼日の10月1日には取り出され酒の出来で村の吉凶を占う伝統的な行事が行われています。

## 10 本谷のたら跡



久斗川の上流部にはたたらの跡が多くあり、製鉄が盛んであったことが知られています。ここにはたたらに必要な炭焼のための森林に恵まれていました。できた玉鋼(たまはがね)は山を超えて小原に運ばれています。近くには鍛冶屋さんが信仰する「金屋子神」がまつられています。

## 11 池ヶ平の化石出土地



久斗川支流、標高約350m付近の崖では砂・レキの中でタニシなどの貝化石や木の葉の化石が採集されます。この化石は日本海が湖のころのものといわれます。近くにはこの地層を切って貫入した岩脈の俵石が見られます。山頂付近の平坦地には火山灰やクロボク土が堆積しています。付近の畑地では縄文土器片や石器が採集され、縄文時代の住居跡も発見されました。

## 12 安泰寺



池ヶ平の平坦地に創建された曹洞宗の寺院です。1976年に京都からこの地に移転され、元の池ヶ平集落一帯を境内としています。現住職はドイツ生まれのネルケ無法氏です。薪や食料を自給自足しながら自然の中で修業する寺院で、外国からの修業僧が常時居住しています。

### ジオコラム 1



久谷には菖蒲綱引きが伝えられています。毎年6月5日には村人が東西に分かれて菖蒲やヨモギなどでつくった綱で綱引きをします。東を大人が、西を子どもが引き、大人が勝つとその年は吉であるという年占いの行事です。

### 2 国指定無形文化財の菖蒲の綱引き

### 3 川沿いに地層の成り立ちを追ってみよう

久斗川渓流に沿って現れる崖や岩盤を見ると、下流の久谷では流紋岩、藤尾では花崗岩、久斗山では花崗岩と凝灰岩、池ヶ平途中では安山岩や礫岩・砂岩泥岩、池ヶ平背後では流紋岩などが下から上へ順番に見られます。

### 4 どうして池ヶ平で化石が出るのだろう

池ヶ平口から支流に沿って登ると標高400mに池ヶ平があります。350m付近の道端ではタニシやカラスガイなどの化石が発見されています。この地層は日本海ができる以前の湖の地層です。尾根の東側でも同様の化石が発見されています。

### 5 久斗山とたら

山陰海岸ジオパーク内の各地では古くからたら製鉄が行われていたことが鉄穴(かんな)流しの跡や野鍛冶場などによって知られています。ここ久斗山地域は花崗岩地帯であり、シデ、ナラ、ケヤキなどが豊富で製炭も行われたため、江戸初期から行われていたようです。たら製鉄は鉄山師のもとで冬季に行われ、サゲ(鉄を焼く者)、フィゴ係り、大工(焼けた鉄を打つ者)など様々な工程に、多くの百姓がかかわる、当時的一大産業でした。

### クイズの答え

新温泉町と香美町境の蓮台山、久斗山の南北の尾根は、北西の季節風を遮り、上昇気流を発生させるため、平野部では雨が降らなくても山裾の久谷には雨をもたらします。地元ではこれを「久谷の内緒雨」と呼んでいます。

新温泉町  
山陰海岸ジオパーク館  
tel.0796-82-5222

新温泉町商工観光課  
tel.0796-82-5625